

令和3年12月期 決算補足説明資料

令和4年2月14日

■ 目次

令和3年12月期 決算業績概要 3

令和3年12月期 業績概要（連結）	4
業績の推移（連結）	5
令和3年12月期 セグメント売上高と増減（連結）	6
令和3年12月期 セグメント利益と増減（連結）	7
主要経営指標（連結）	8
貸借対照表（連結）	9
キャッシュ・フローの状況（連結）	10
キャッシュ・フロー関連指数の推移（連結）	11
配当の状況	12
連結経営指標等の推移	13

セグメント別実績 14

アグリ事業	15
化学品事業	16
不動産事業	17
建材事業/石油事業/運輸事業	18

「中期経営計画2023」進捗と業績予想について 19

「中期経営計画2023」基本方針と基本戦略	20
「中期経営計画2023」進捗について	21
令和4年12月期 業績予想（連結）	22

令和3年12月期 決算業績概要

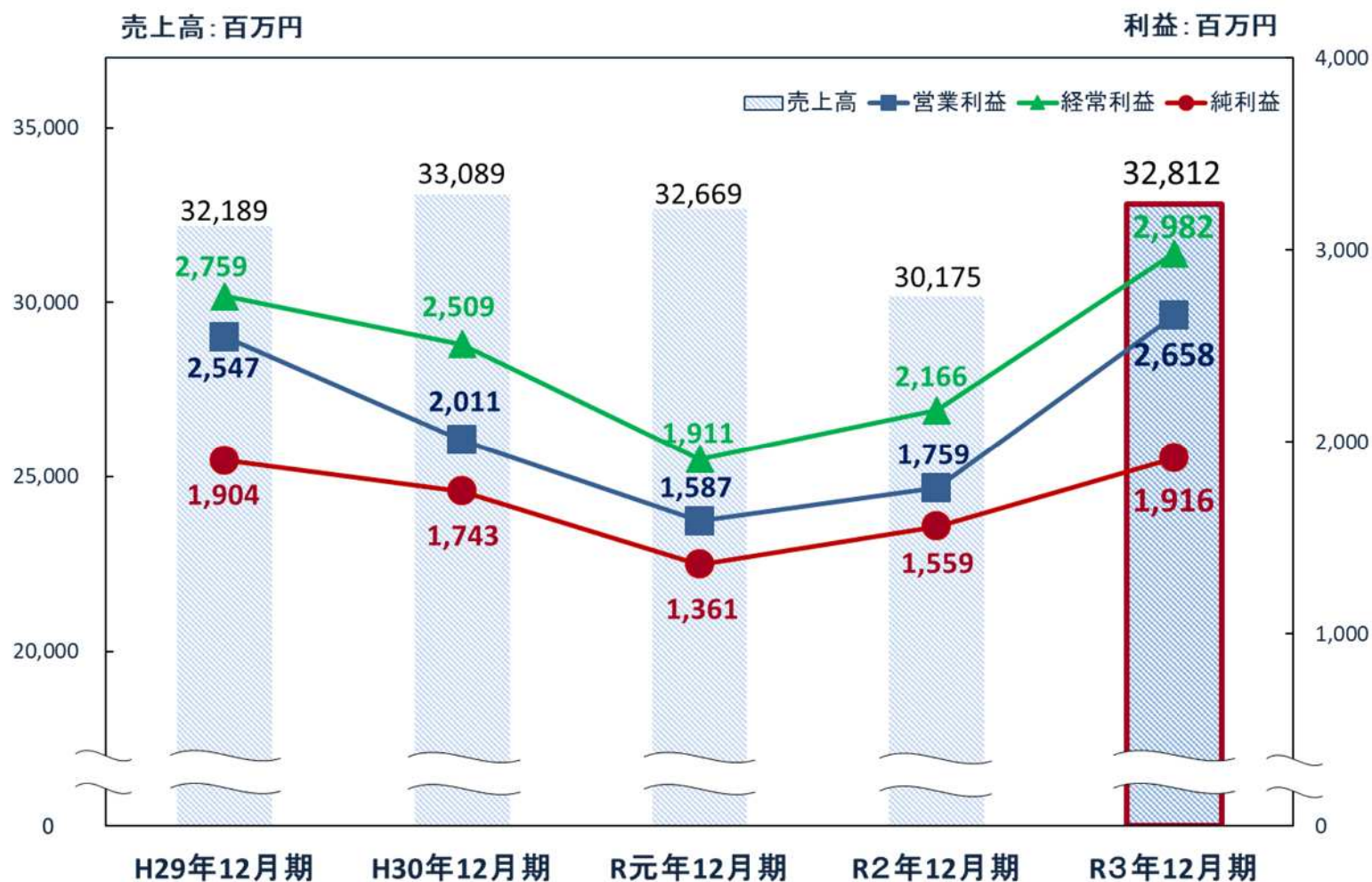
■ 令和3年12月期 業績概要（連結）

- 売上高は、前期比+2,637百万円（+8.7%）の増収。
- 営業利益は、前期比+898百万円（+51.0%）の増益。
- 経常利益は、前期比+815百万円（+37.6%）の増益。
- 親会社に帰属する当期純利益は、前期比+356百万円（+22.9%）の増益、1株当たり年間配当金は50円（予定）。

単位：百万円

	R2年12月期	R3年12月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	30,175	32,812	+ 2,637	+8.7 %
営業利益	1,759	2,658	+ 898	+51.0 %
経常利益	2,166	2,982	+ 815	+37.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,559	1,916	+ 356	+22.9 %
1株当たり 年間配当金(円)	45	50 (予定)	+ 5 (予定)	—

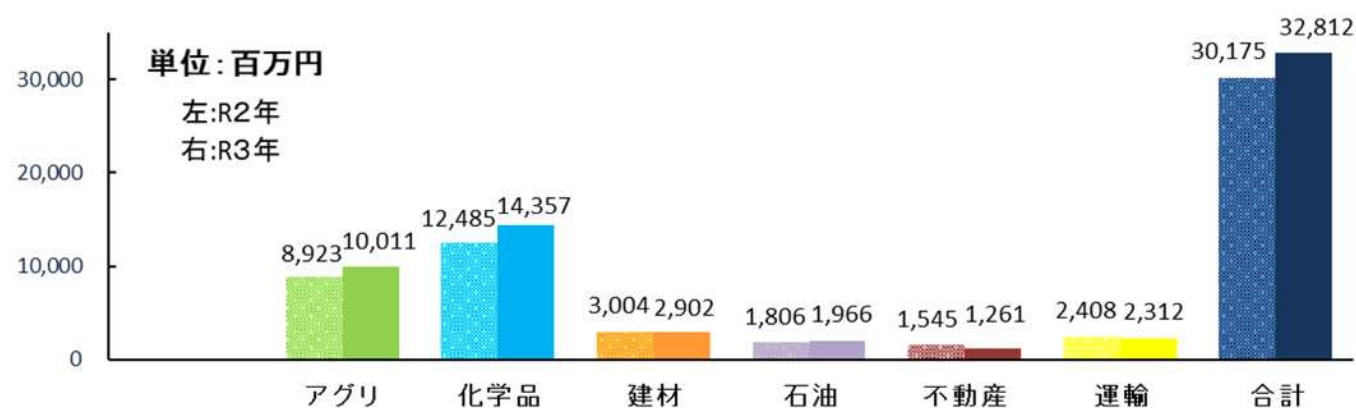
■業績の推移（連結）



■ 令和3年12月期 セグメント売上高と増減（連結）

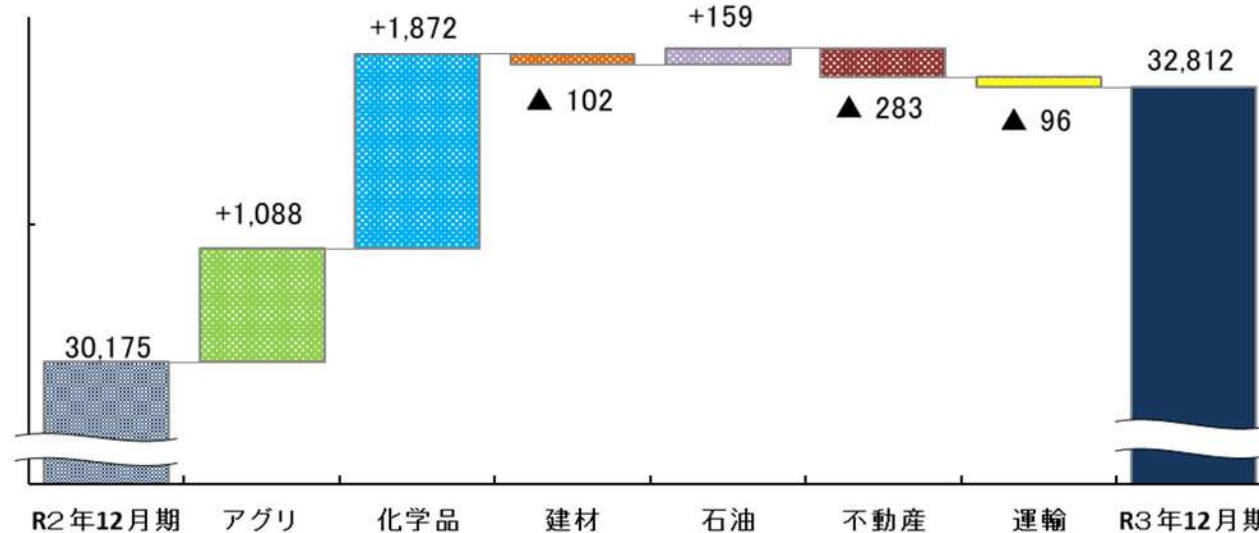
多木化学株式会社

● 令和3年12月期
セグメント売上高（連結）



● 令和3年12月期
セグメント売上高増減（連結）

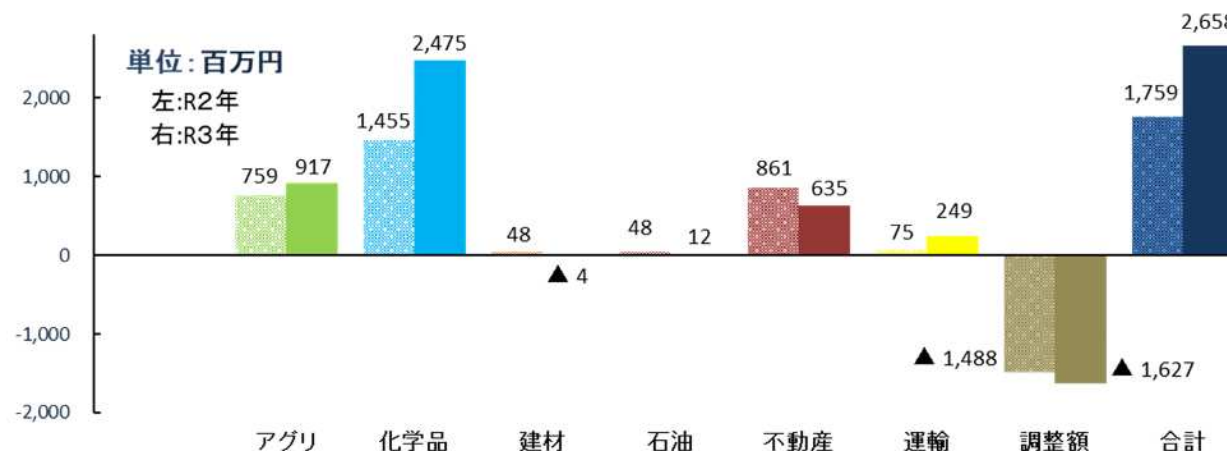
前期比+2,637百万円



■ 令和3年12月期 セグメント利益と増減（連結）

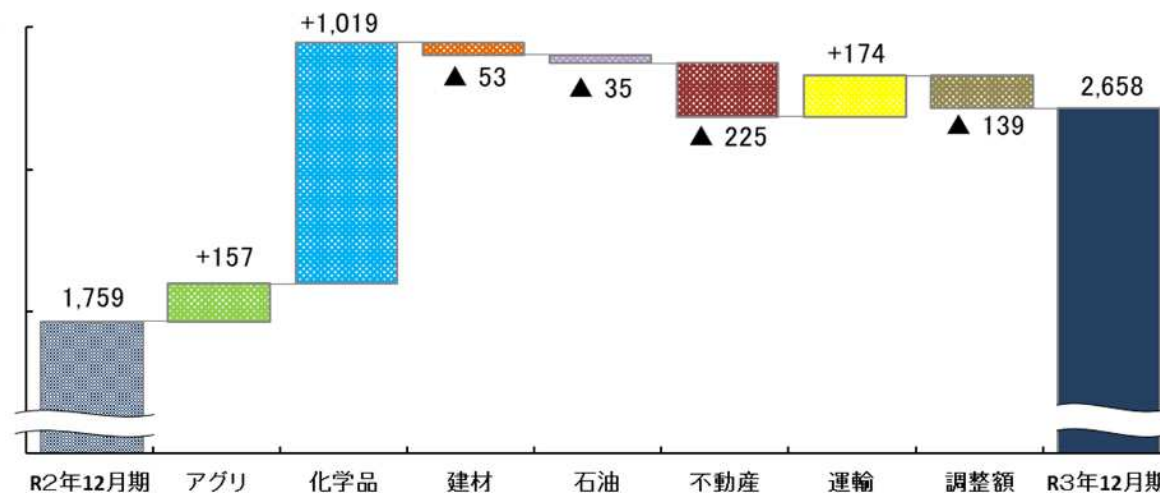
多木化学株式会社

● 令和3年12月期
セグメント利益（連結）



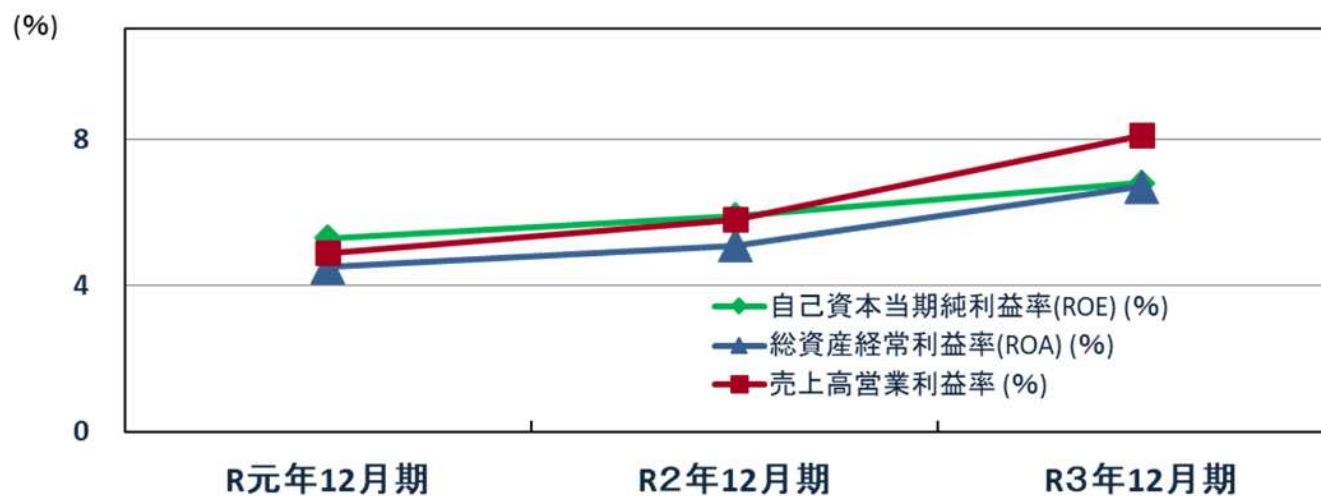
● 令和3年12月期
セグメント利益増減（連結）

前期比+898百万円



■ 主要経営指標（連結）

	R元年12月期	R2年12月期	R3年12月期
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	5.3	5.9	6.8
総資産経常利益率(ROA) (%)	4.5	5.1	6.7
売上高営業利益率 (%)	4.9	5.8	8.1



■ 貸借対照表（連結）

多木化学株式会社

単位：百万円

連結貸借対照表		R2年12月期	R3年12月期	前期末比
資産	流動資産	21,898	22,352	+453
	有形固定資産	13,878	15,809	+1,931
	無形固定資産	486	522	+36
	投資その他	6,675	7,352	+677
総資産合計		42,939	46,037	+3,097
負債	流動負債	7,313	8,596	+1,283
	固定負債	8,547	8,062	▲ 484
負債合計		15,860	16,659	+798
純資産合計		27,079	29,378	+2,298
自己資本比率（％）		62.7	63.5	+0.8
1株当たり純資産（円）		3,114.67	3,378.42	+263.75

■ キャッシュ・フローの状況（連結）

多木化学株式会社

単位：百万円

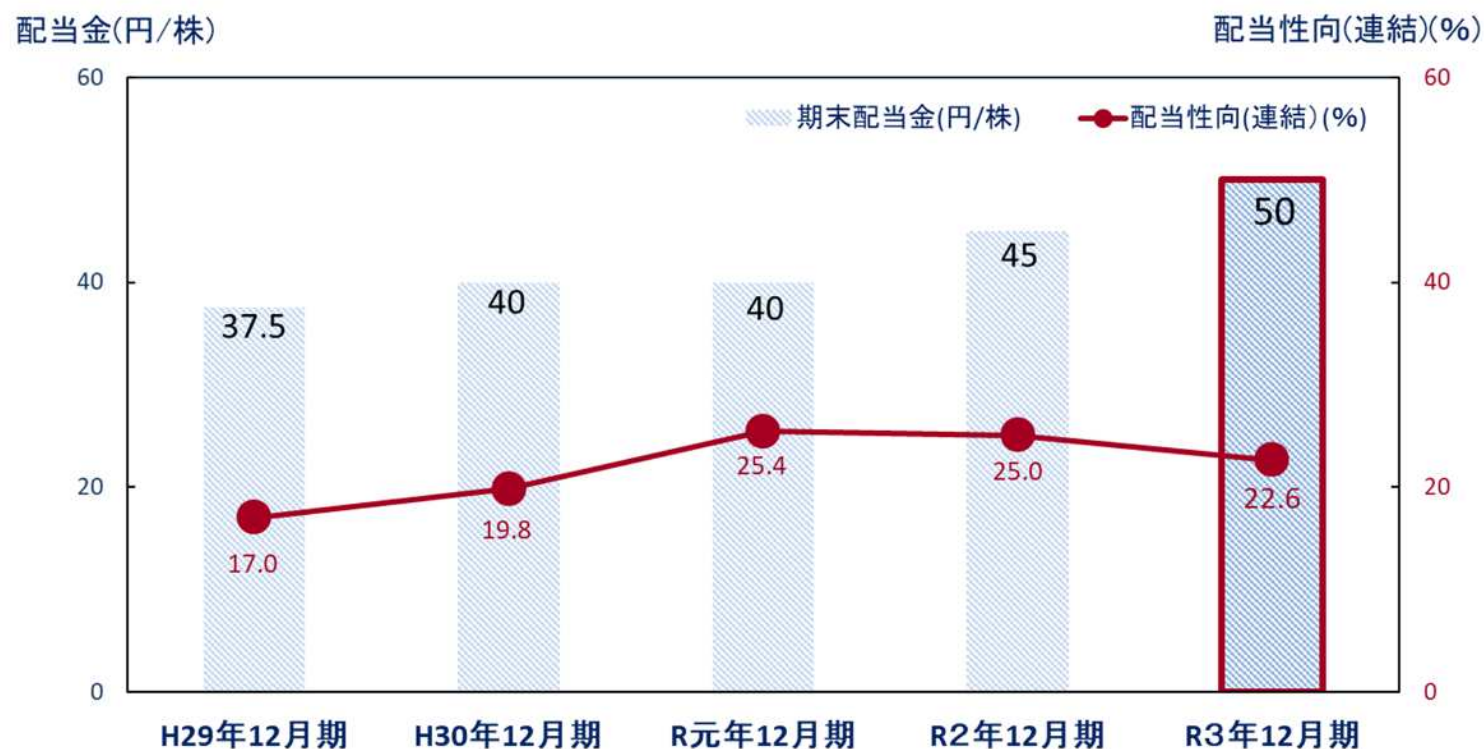
	R元年12月期	R2年12月期	R3年12月期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,903	3,024	2,823
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,163	▲ 1,009	▲ 2,319
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 473	▲ 561	▲ 498
現金及び現金 同等物期末残高	4,973	6,426	6,433

■ キャッシュ・フロー関連指数の推移（連結）

	H29年 12月期	H30年 12月期	R元年 12月期	R2年 12月期	R3年 12月期
自己資本比率（％）	60.6	60.1	61.5	62.7	63.5
時価ベースの自己資本比率（％）	59.0	116.3	94.8	131.3	109.0
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率（年）	0.8	1.3	0.9	1.0	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	222.7	143.8	212.1	227.6	222.1

■ 配当の状況

- 令和3年12月期は、1株当たり年間50円を予定しています。
- 令和4年12月期は、1株当たり年間50円を予想しています。



平成29年7月1日に普通株式5株を1株とする株式併合、平成31年1月1日に普通株式1株を2株とする株式分割を実施しました。それぞれ平成29年の期首に行われたものと仮定して、算定しております。

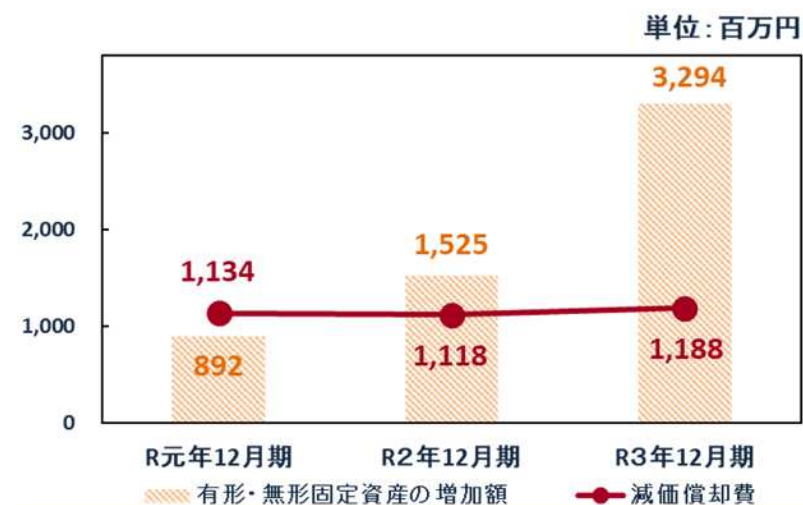
■ 連結経営指標等の推移

多木化学株式会社

単位：百万円

連結	R元年12月期		R2年12月期		R3年12月期	
		前期比		前期比		前期比
営業利益	1,587	▲ 424	1,759	+172	2,658	+898
有形・無形 固定資産の増加額	892	▲ 665	1,525	+633	3,294	+1,769
減価償却費	1,134	▲ 62	1,118	▲ 16	1,188	+70
EBITDA ※	2,721	▲ 487	2,877	+156	3,846	+969

※「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出



セグメント別実績

■セグメント別実績 -アグリ事業-

アグリ事業

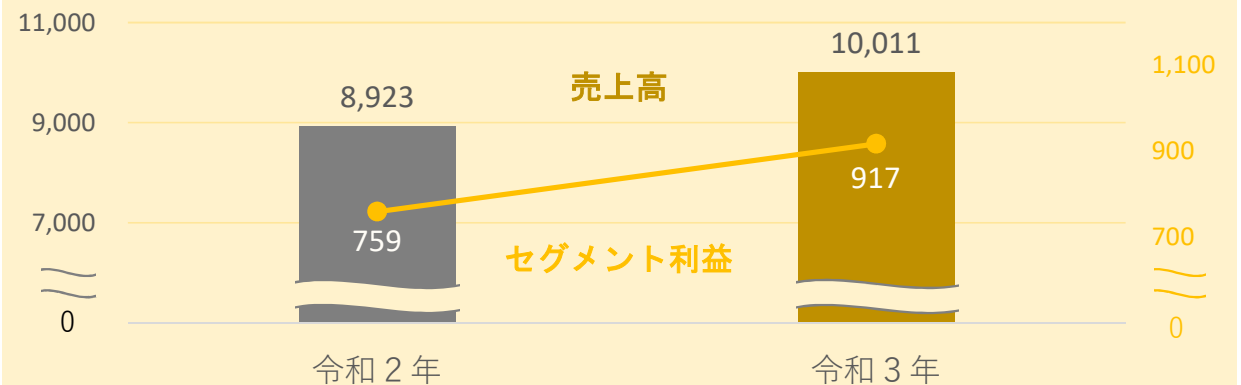
経営成績等の概況

肥料の販売数量が海外原料市況の上昇に伴う値上がりを見越した駆け込み需要の影響などで増加したことに加え、販売価格を改定したことにより、売上高は10億11百万円と前期に比べ12.2%の大幅な増加となりました。

アグリ事業 売上高・セグメント利益

売上高：百万円

利益：百万円



■セグメント別実績 -化学品事業-

多木化学株式会社



化学品事業

経営成績等の概況

水処理薬剤は販売数量が超高塩基度ポリ塩化アルミニウムなどの好調な出荷により増加し、売上高は84億9百万円と前期に比べ1.2%の増加となりました。

機能性材料は、生産調整が続いていたスマートフォン向け高純度酸化タンタルと新型コロナウイルス感染症により一時的に需要が低迷した自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が回復し、売上高は57億57百万円と前期に比べ45.3%の大幅な増加となりました。

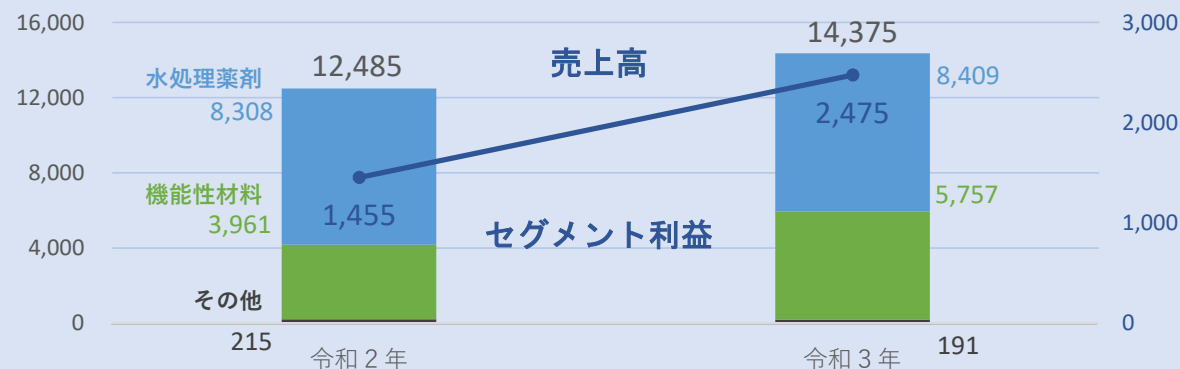
その他化学品の売上高は1億91百万円と前期に比べ11.5%の減少となりました。

それらの結果、売上高は143億57百万円と前期に比べ15.0%の大幅な増加となりました。

化学品事業 売上高・セグメント利益

売上高：百万円

利益：百万円



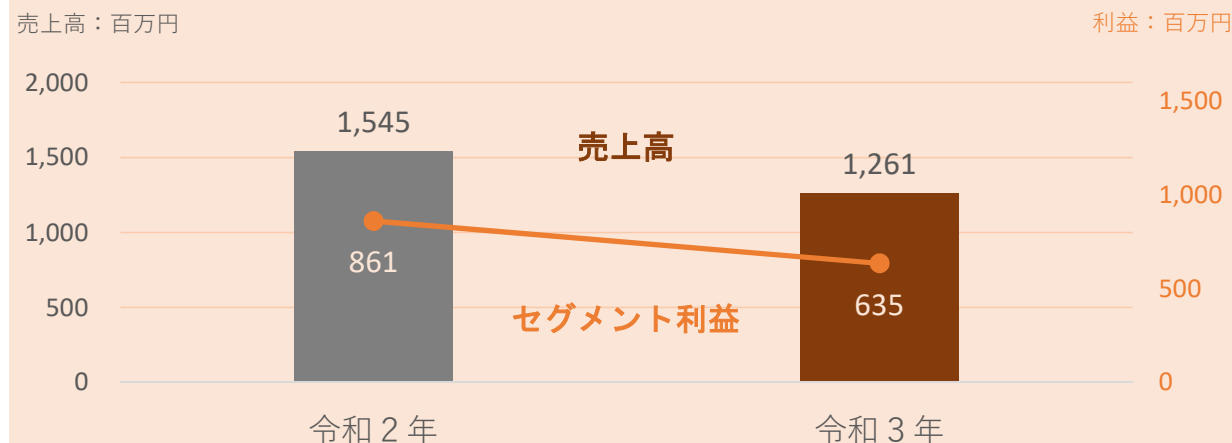
■セグメント別実績 -不動産事業-



経営成績等の概況

ショッピングセンターの賃料収入が、リニューアル工事に伴い減少したことなどにより、売上高は12億61百万円と前期に比べ18.4%の大幅な減少となりました。

不動産事業 売上高・セグメント利益



■セグメント別実績 -建材事業/石油事業/運輸事業-

多木化学株式会社



建材事業

	令和 2 年	令和 3 年
売上高	3,004	2,902
セグメント利益	48	▲4



石油事業

	令和 2 年	令和 3 年
売上高	1,806	1,966
セグメント利益	48	12



運輸事業

	令和 2 年	令和 3 年
売上高	2,408	2,312
セグメント利益	75	249

経営成績等の概況

建材事業：石こうボードの販売数量が減少したことに加え、販売価格が下落したことにより、売上高は29億 2 百万円と、前期に比べ 3. 4%の減少となりました。

石油事業：燃料油の販売数量は減少したものの、原油価格の上昇による販売価格の値上がりにより、売上高は19億66百万円と前期に比べ8. 8%の増加となりました。

運輸事業：荷動きが低調に推移したことにより、売上高は23億12百万円と前期に比べ4. 0%の減少となりました。

「中期経営計画2023」進捗 と業績予想について

■ 「中期経営計画2023」 基本方針と基本戦略

1 成長事業への 積極的投資

- 「バカマツタケ」の生産・販売体制の早期確立および事業化
- 「メディカル材料」「コラーゲン材料」「各種酸化ナノ材料」などの開発商品の新規用途への展開および事業拡大

2 既存事業の 収益力向上

- 「アグリ事業（肥料）」「化学品事業（水処理薬剤）」における生産性向上、コスト削減および提案型営業による販売力の強化
- 長年培った技術力を活かした海外事業の推進

3 経営基盤の 強靱化

- 「事業継続計画（BCP）」の継続的改善
- 「労働安全衛生マネジメントシステム」の構築・運用
- 労働環境の改善や生産性向上に関わる設備の更新・保全

4 コンプライアンス 経営の推進

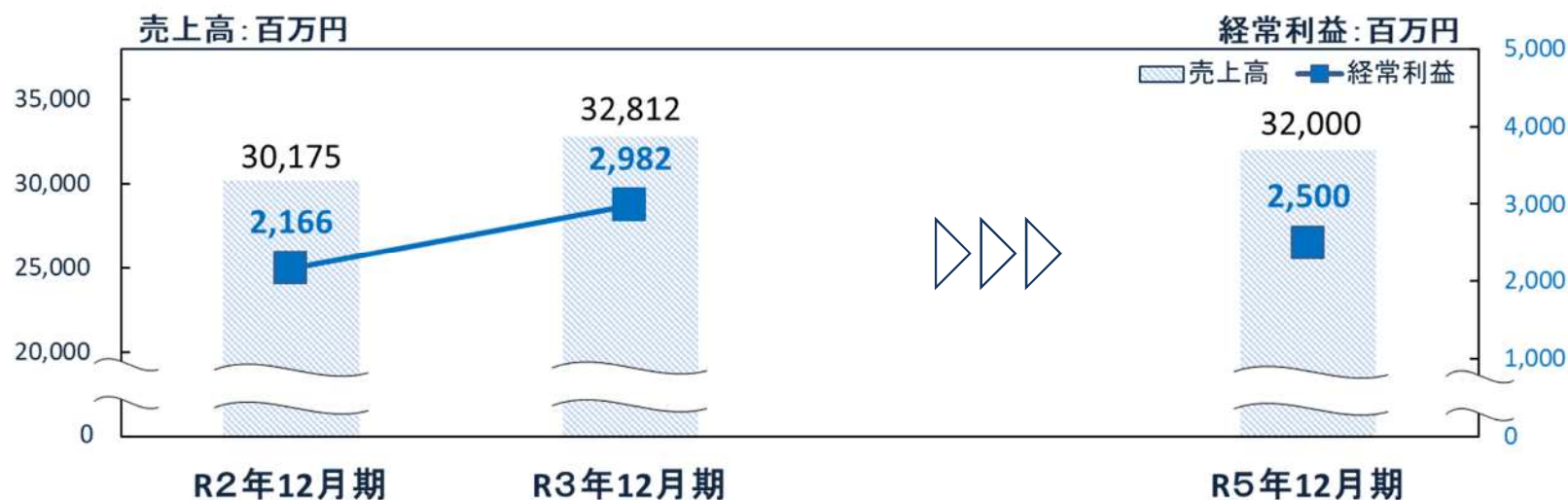
- コンプライアンス教育およびコーポレート・ガバナンス体制の強化

■ 「中期経営計画2023」 進捗について

- 令和3年度は、アグリ事業では肥料の値上がりを見越した駆け込み需要が発生するとともに、化学品事業の機能性材料ではスマートフォンや自動車に関連する製品を中心に大幅な需要回復となりました。
その結果、当社グループの業績は、中期経営計画最終年度の目標数値を上回る結果となりました。

単位：百万円

	R2年12月期 実績	R3年12月期 実績	R5年12月期 (中期経営計画2023最終年目標)
売上高	30,175	32,812	32,000
経常利益	2,166	2,982	2,500
自己資本当期純利益率(ROE)	5.9%	6.8%	6.0%以上



■ 令和4年12月期 業績予想(連結)

- 令和4年度は、前年の駆け込み需要の反動や供給面での制約、原材料価格の上昇に加えて、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されることから、事業環境は厳しくなるものと予想しており、需要動向を的確にとらえた生産と販売価格の是正等に努めることで収益を確保してまいります。

単位: 百万円

	R3年12月期 実績	R4年12月期 業績予想	差異
売上高	32,812	33,000	+188
営業利益	2,658	1,550	▲ 1,108
経常利益	2,982	1,850	▲ 1,132
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,916	1,450	▲ 466
1株当たり 当期純利益(円)	221.46	167.56	▲ 53.90

●ご注意

本資料には、連結業績予想等の将来予測情報が含まれております。それらの情報は、本資料の作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々なリスク要因や不確実な要素により大きく異なる可能性があります。

●お問い合わせ先

多木化学株式会社 総務人事部

〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地

TEL : 079-437-6002

FAX : 079-437-8822

URL : <https://www.takichem.co.jp>